

- この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。なお施工後は、施主様に必ずお渡しください。
- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~170mm)に取り付けられます。

## ■施工される方へお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

- ▲注意 ……取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 本体つり込み後、本体が鴨居に5mm以上かかっている事を確認してください。本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。
- 建付け調整後、本体の鴨居へのかかりが十分か、本体と縦枠の上・下部のチリが均等か、確認してください。調整が不十分な場合、本体が外れるおそれがありますのでご注意ください。
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。

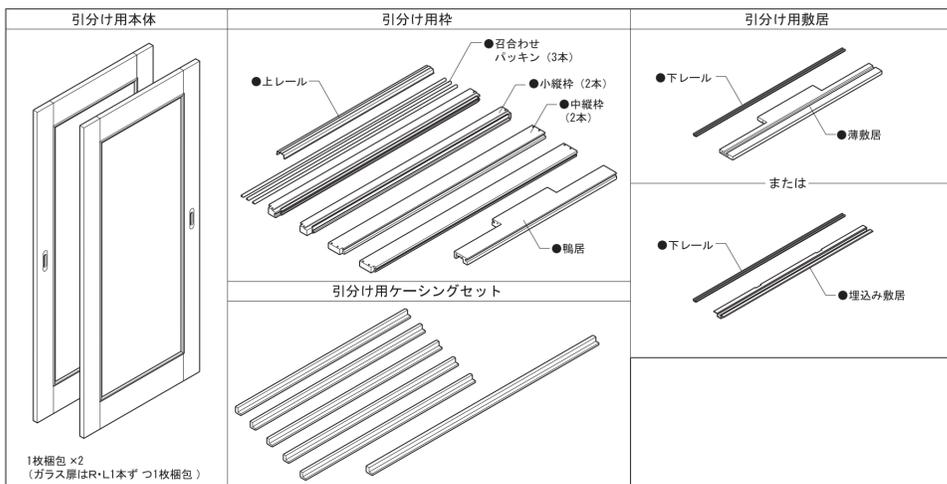
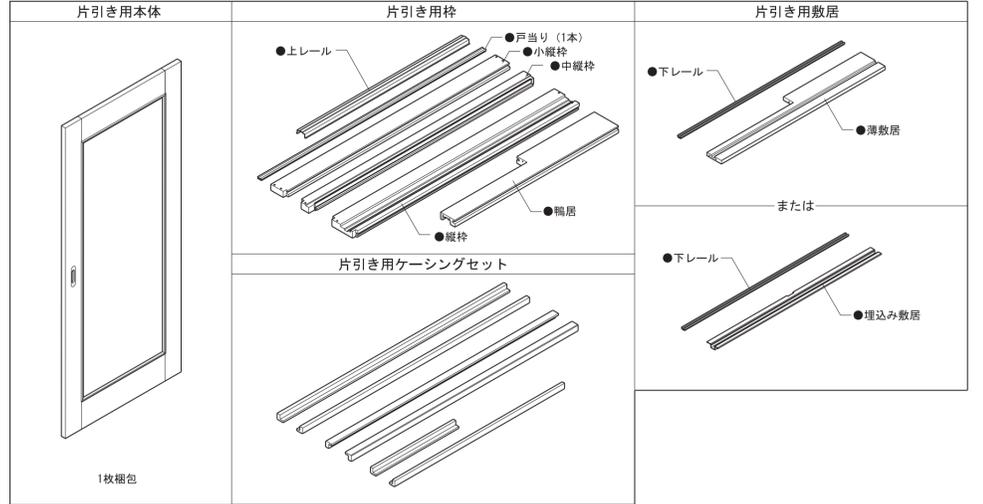
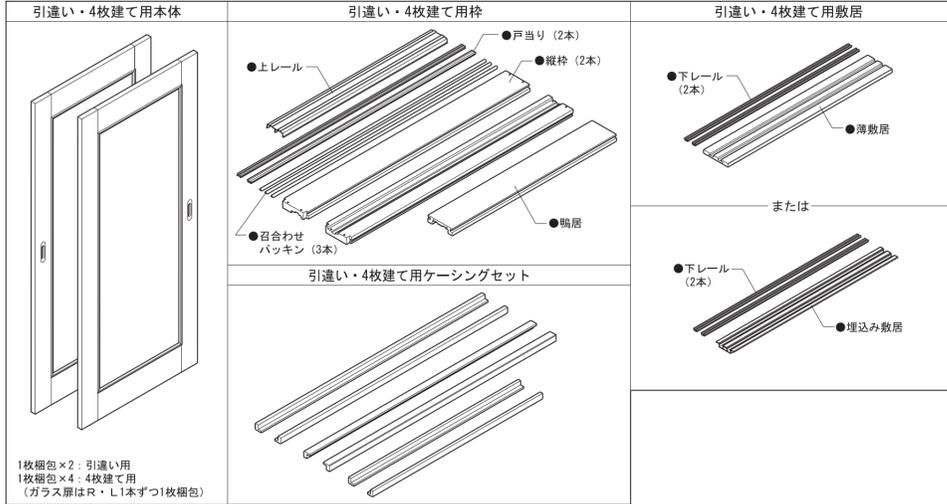
## ■施工上お願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれ等のないよう(特に中縦枠)注意してください。
- 造材・建具枠を取り付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)

- 造材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ず透き間をつくり、かい木を入れてください。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造材・建具枠小口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。

## ■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



### ■枠セット

	引違い	片引き	引分け	4枚建て
鴨居	1	1	1	1
縦枠	2	1	2	2
中縦枠	-	1	2	-
小縦枠	-	1	2	-
上レール	1	1	1	1

	引違い	片引き	引分け	4枚建て
数居	1	1	1	1
下レール	2	1	1	2

	引違い	片引き	引分け	4枚建て
引違い用	1	-	-	-
片引き用	-	1	-	-
引分け用	-	-	1	-
4枚建て用	-	-	-	1

### ■部品セット明細

【引違い用】	【片引き用】	【引違い・4枚建て/薄敷居用】
枠組立てねじ DNビス(血木ねじ) φ3.8×65	4本	4本
鴨居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	5本	5本
縦枠取付け用 DNビス(血木ねじ) φ3.8×65	12本	6本
ポリネートチューブ	1本	4本
		トラスタッピンねじφ4×40
		プッシュボタン
		ポリネートチューブ
		1本

【引分け用】	【4枚建て用】	【4枚建て/埋込み敷居用】
枠組立てねじ DNビス(血木ねじ) φ3.8×65	4本	4本
鴨居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	9本	9本
小縦枠取付け用 トラスタッピンねじφ4×40	8本	8本
プッシュボタン	8個	8個

【片引き・引分け/薄敷居用】	【引違い/埋込み敷居用】	【4枚建て/埋込み敷居用】
枠組立てねじ DNビス(血木ねじ) φ3.8×65	6本	4本
鴨居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	4個	4個
小縦枠取付け用 トラスタッピンねじφ4×40	4個	4個
プッシュボタン	4個	4個
ポリネートチューブ	1本	1本

【片引き/埋込み敷居用】	【引分け/埋込み敷居用】
数居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	6本
中縦枠用埋込み敷居スベラー	1個
数居取付け用 ナベタッピンねじφ4×40	9本
中縦枠用埋込み敷居スベラー	2個

※4枚建て・引分けには召合わせパッキンが同梱されます。

## ■開口部の確認

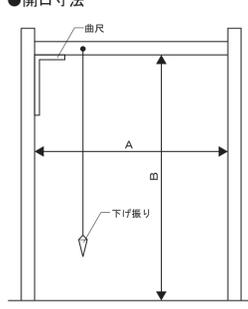
- 開口部の水平・垂直を確認してください。
- 開口部寸法が下記寸法になっていることを確認してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

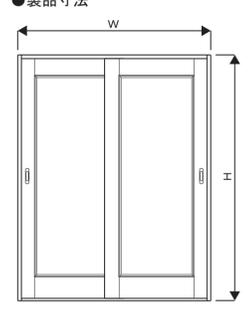
### ■壁厚の違いによる枠とケーシングの組み合わせ

在来工法用	ケーシング(足寸法)	対応壁厚	
		薄壁用	厚壁用
薄壁用	14	111~131	132~141
	19	132~141	142~158
厚壁用	14	142~158	159~170
	8	159~170	115

### ●開口寸法



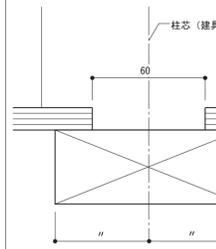
### ●製品寸法



## ■床の張り方

### 【床先張り(枠後付け)の場合】

- 引違い・4枚建て  
※床材は、柱芯(建具芯)を中心に60mmあけて張ってください。

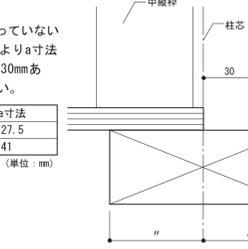


### ●片引き・引分け

- ※床材は、柱芯(建具芯)より引き込み側に30mmあけて張ってください。
- 柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所に30mmあけて張ってください。

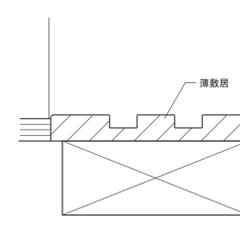
枠機種	a寸法
C付115	27.5
C付142	41

(単位:mm)



### 【床後張り(枠先付け)の場合】

- ※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



## ■取付け順序

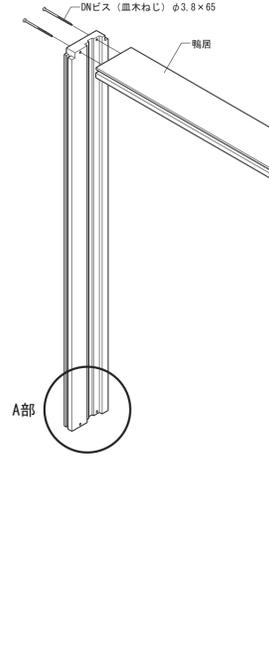
### 1 枠の組立て

【床先張り(枠後付け)の場合】

※埋込み敷居を使用してください。

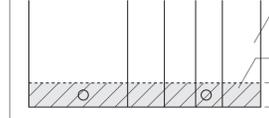
- 図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ( DNビス(血木ねじ) φ3.8×65)で固定します。

### ●引違い枠



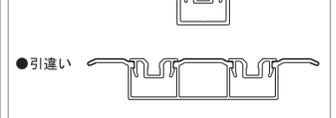
### 【A部詳細図】

※縦枠(斜線部)を切断してください。

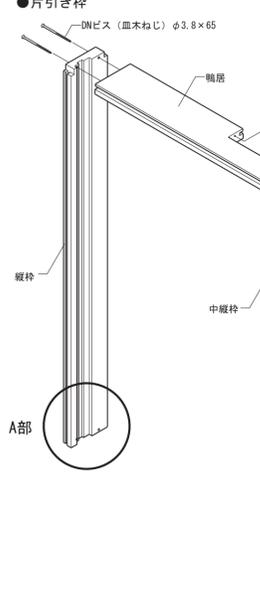


### 【埋込み敷居】

- 片引き
- 引違い



### ●片引き枠

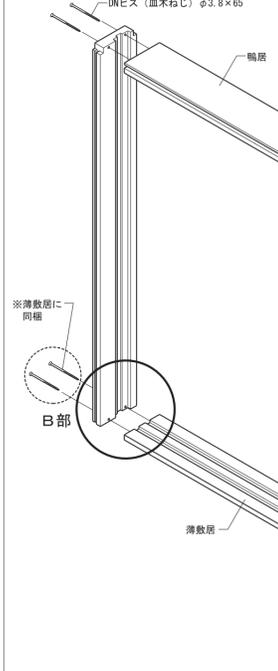


### 【床後張り(枠先付け)の場合】

※薄敷居を使用してください。

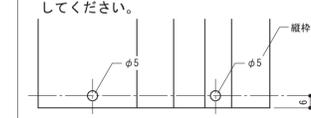
- 図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ( DNビス(血木ねじ) φ3.8×65)で固定します。

### ●引違い枠



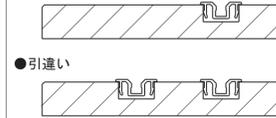
### 【B部詳細図】

※縦枠(下穴加工済み)を切断せずに使用してください。

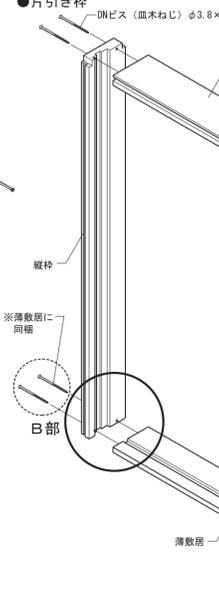


### 【薄敷居】

- 片引き
- 引違い



### ●片引き枠



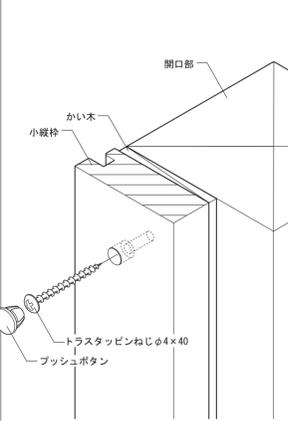
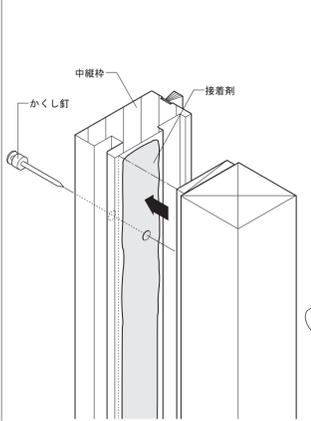
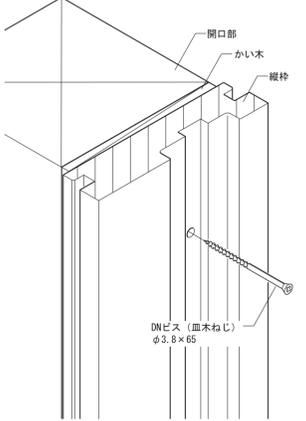
## 2 枠の取付け

●開口部と、縦枠・(中縦枠・小縦枠)・上枠との間にかい木を入れて取り付けます。  
※上枠はナベタッピンねじφ4×40で固定してください。

●縦枠  
※DNビス(皿木ねじ)φ3.8×65で固定します。

●中縦枠  
※裏面に接着剤を塗布し、専用のかかし釘で固定します。

●小縦枠  
※トラスタッピンねじφ4×40で固定し、プッシュボタンをはめ込みます。

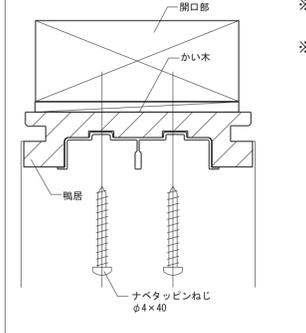


【お願い】  
※片引き・引分けの建具引き込み部の半壁は、枠を開口部に取り付けてから施工してください。

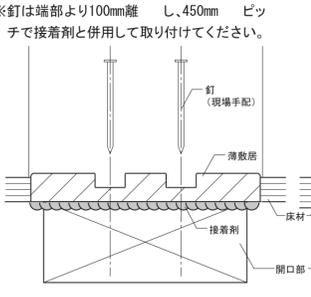
注意  
●枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれ等のないよう(特に中縦枠)注意してください。  
●本体取り付け後、本体が鴨居に5mm以上かかっている事を確認してください。本体と枠の間に透き間が生じたり、本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。

## 床後張り(枠先付けの場合)

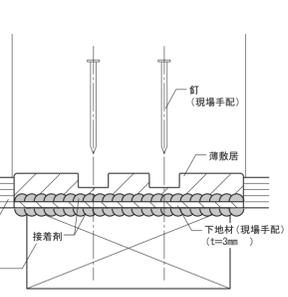
※ナベタッピンねじφ4×40で固定します。



●床材厚さ12mm  
※必ず薄敷居に接着剤を付け、躯体に固定してください。  
※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤と併用して取り付けてください。



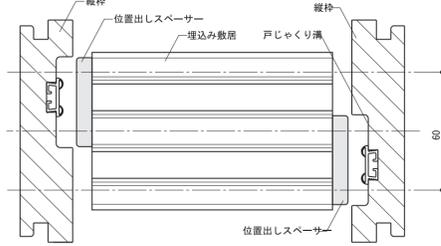
●床材厚さ15mm  
※必ず薄敷居と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



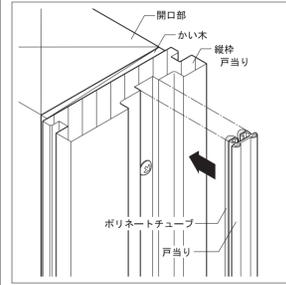
## 埋込み敷居の取付け

●引違い枠(4枚建て枠は引違い枠に準じる)

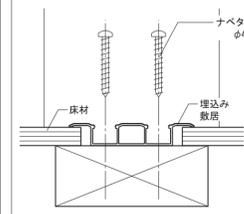
①埋込み敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じやくり溝に合わせます。  
②じやくり溝に合わせます。同梱のねじで固定します。



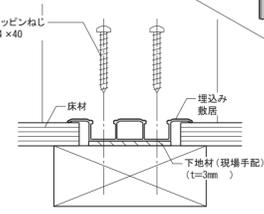
③戸当りに同梱のポリネートチューブ(接着剤)を付けて溝をふさぎます。  
※戸当りは必ず、敷居取付け後に取り付けてください。



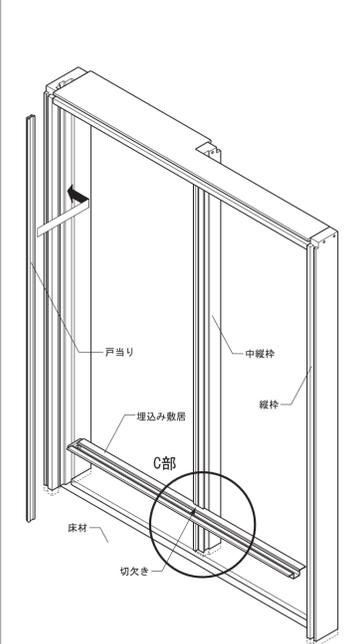
床材厚さ12mm



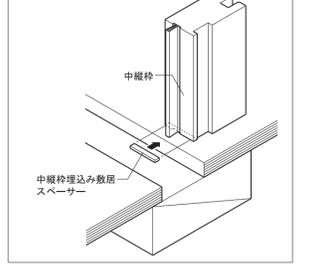
床材厚さ15mm



●片引き枠(引分け枠は片引き枠に準じる)  
①埋込み敷居の切欠きを中縦枠に合わせます。  
※以下は引違い枠を参照してください。

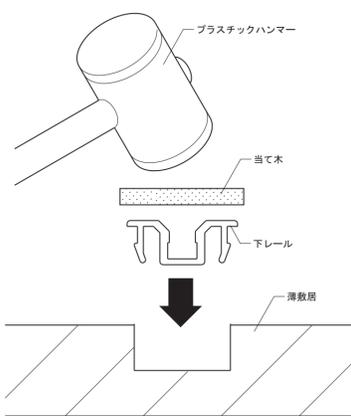


## C部詳細図

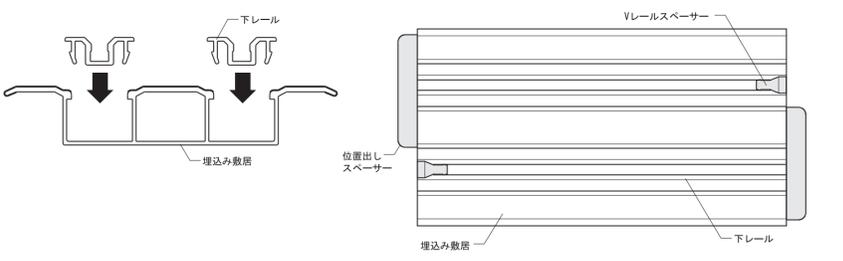


## 3 下レールの取付け

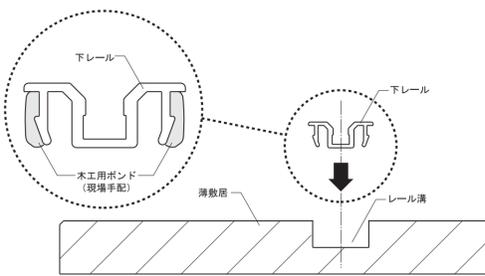
●敷居の溝にプラスチックハンマー等でたたき込んで固定します。



## 埋込み敷居の場合



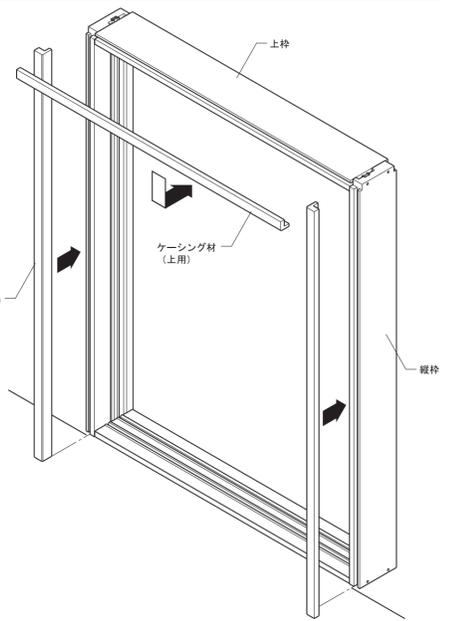
※木工用ボンドは、レール溝にガタのある場合に使用してください。



## 4 ケーシング材の取付け

※壁材・床材を仕上げからケーシング材を取り付けてください。

①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。  
②枠のケーシング溝へケーシング材を差し込みます。  
③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤を塗布し、ケーシング材を固定します。



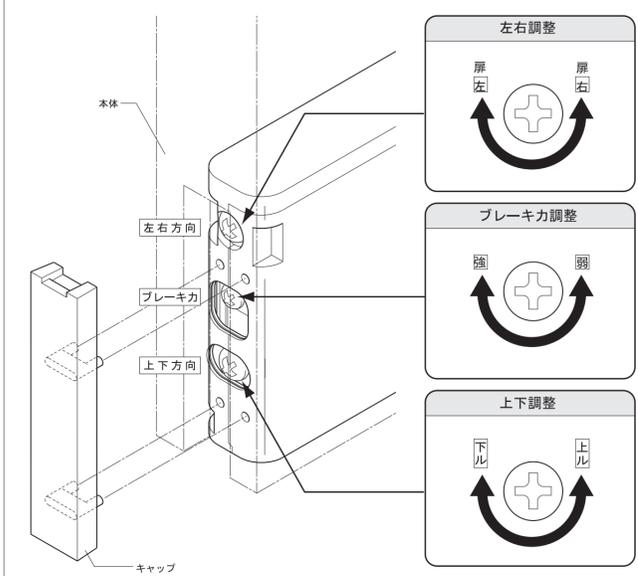
## 建付け調整

### 引戸本体の建付け調整

●本体には、上下方向及び前後方向及びブレーキ力の調整機能が付いています。

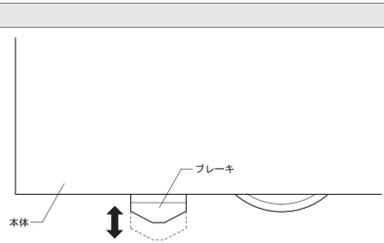
### 上下調整(調整幅+4mm、-1mm)

●本体両下側のキャップを外し、上下調整ねじを左に回すと本体が上がり、右に回すと本体が下がります。調整後はキャップを付けてください。



### ブレーキ力調整

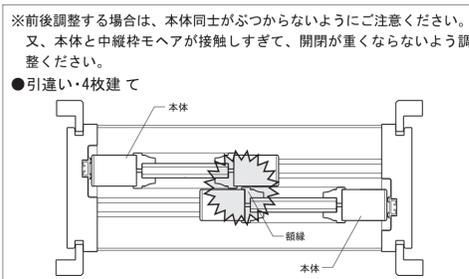
●本体両下側のキャップを外し、ブレーキ力調整ねじを右に回すとブレーキ力が強まり、左に回すとブレーキ力が弱まります。なお、ブレーキ力調整は上下調整終了後に行ってください。調整後はキャップを付けてください。



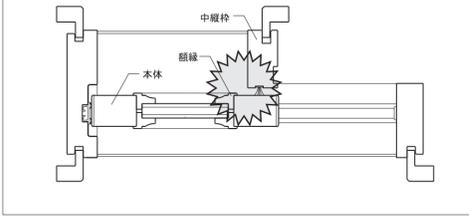
### 前後調整(調整幅±2mm)

①本体両下側のキャップを外し、前後調整ねじを右に回すと本体が左に動き、左に回すと右に動きます。調整後はキャップを付けてください。  
②本体上端の上部調整部品のねじをゆるめ、①で調整した分だけ上部調整部品をずらし、ねじを締め直します。(本体が常に垂直になるように調整してください。)

※前後調整する場合は、本体同士がぶつからないようご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整ください。

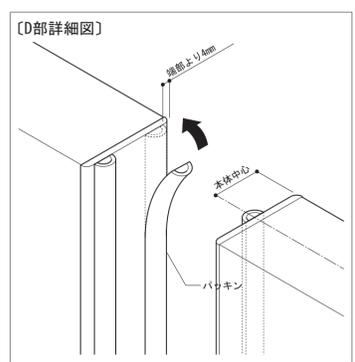


### 片引き・引分け



### 召合わせパッキンの取付け(4枚建て・引分けのみ)

※4枚建て・引分け用本体の召合わせ部に、枠と同梱のパッキンを取り付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度力で手で押しつけて張り付けてください。(パッキンは枠のダンボールに入っています。)



### 引戸錠の向きについて

※引戸錠(取付け済み)のサムターンが部屋内にきていない場合、図のように向きを変えてください。

